



鶴ヶ島第一小学校
学校だより

学校教育目標
かしこく なかよく たくましく



ゆずりは

6月号 NO.3

令和7年6月18日

【お話朝会】『 温かい心と心をつなぐために 』

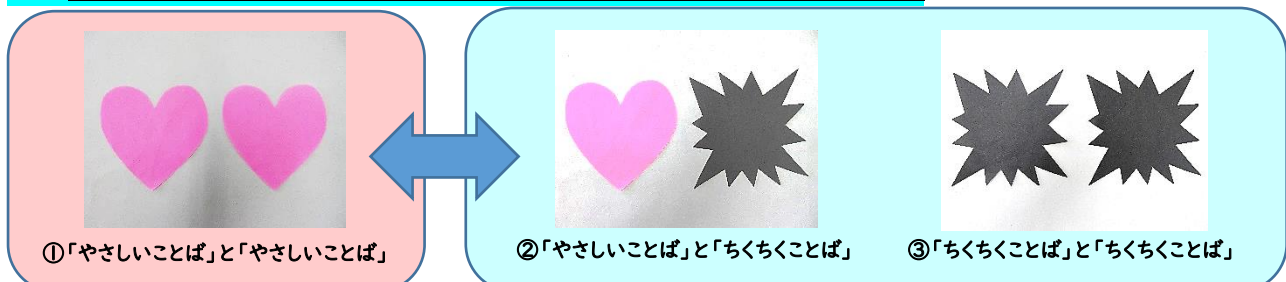


6月に入った頃から、子供たちは少しずつ学校生活に慣れ、表情が豊かになり楽しく過ごしている様子が見られます。

5月27日のお話朝会では、子供たちに『安心』して楽しく過ごしていくためのお話をしました。最初に、子供たちに質問をしました。「いつも安心できる学校になればいいなと思う人？」の質問に、ほぼ全員が手を挙げていました。みんなの気持ちは一緒だなと感じる瞬間でした。

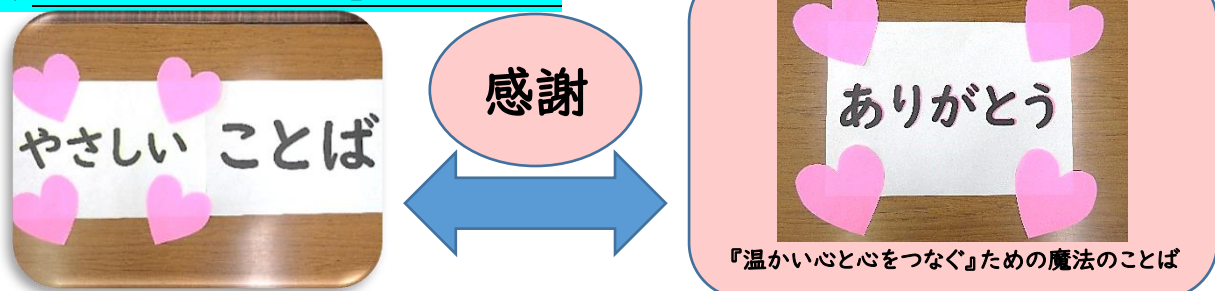
そして、子供たちと一緒に、『温かい心と心をつなぐ方法』について考えていきました。

(1) 人と人の「ことば」のつながりで、『安心』できるのはどれですか？



子供たちは、『やさしいことば』を意識して使っていけば、『温かい心と心をつなぐ』ことができると強く感じる事ができました。

(2) 『温かい心と心をつなぐ』ためのポイント



子供たちは『やさしいことば』をかけられたら、嬉しい気持ちになることはわかっています。これを意識的に使うことが大切になります。また、この時に、嬉しい気持ちを相手の人に『ありがとう!!』という感謝の魔法のことばを使うことで、さらに、『温かい心と心をつなぐ』ことができることを学んでくれました。

子供たちの可能性は、無限大です。今日のお話をもとに、『安心』できて、よりよい鶴一小になるために、みんなで心をつなげて『キラキラの笑顔があふれる』最高の学校にしていきたいと思っています。そして、子供たちが、自分の学校を世界一自慢できるようになることを期待しています。

【重要】交通事故をなくすために

学校は、子供たちを交通事故から守るため、基本的な交通ルール（道路の正しい歩き方、安全な横断の仕方、信号の正しい見方等）を徹底させるために指導をしています。ぜひ、ご家庭でもお話していただき、みんなで意識を高めていきたいと思います。

【交通事故防止のための5つの行動】

①もしかして（危険予測）

もしかして、自動車・バイク・自転車・歩行者が「飛び出す」、「動き出す」、「急に方向を変える」かもしれないという意識を持ちましょう。

②とまる（一時停止）

「止まれ」標識への意識を持ち、完全に止まります。⇒ 『飛び出し事故に注意』

③みる（安全確認）

どんなときでも、左右、前後、まわりが安全かどうかを自分の目でしっかり見ましょう。

④まつ（安全確保）

心と時間にゆとりを持ち、安全が確保されるまで、人や車が通過するのを待ちましょう。

⑤たしかめる（再確認）

安全に横断、通行ができるかどうか、もう一度、よく確かめてください。



<歩行者の皆さんへ>

夕暮れに外出するときには、明るい色の服装や反射材、LEDライトを使用するなど、ドライバーから見やすいように工夫をしましょう。暗くなると、歩行者から車のライトが見えても、ドライバーからは歩行者や自転車がよく見えないことがあります。自分の存在をドライバーからいち早く認識してもらうことが大切です。

信号無視、斜め横断、横断禁止場所での横断は重大事故を引き起こす原因となります。事故に遭わないためにも交通ルールとマナーをしっかり守りましょう。

<自転車を利用する皆さんへ>

自転車利用者のルール違反やマナーの悪さが大きな問題となっています。

自転車は車の仲間です。車の運転者としての責任を自覚し、交通ルールをしっかり守りましょう。

『ヘルメットを正しく着用しましょう。』

自転車事故死者のほとんどが、頭部への損傷により命を落としています。ヘルメットさえかぶっていれば、大切な命を落とすという最悪の事態は防げる場合があります。

【御礼】登下校の見守りに感謝いたします。

保護者の皆様や地域の皆様には、日頃から本校の子供たちのためにご支援ご協力をいただき感謝いたします。皆様のおかげで学校は支えられており、安心・安全な学校生活を送ることができています。新年度がスタートして2か月が経ちますが、「登下校の見守り」の強化にご協力をいただき大変ありがとうございます。

引き続き、地域とともにある学校を目指していき、学校・家庭・地域が一体となって、未来ある子供たちのために、安心・安全な学校づくりをしていきたいと思います。